

2022 年度事業報告書

2022 年度（令和 4 年度）の福祉、介護現場には、新型コロナウイルス感染症の影響により、継続的な感染症対策を行いつつ、必要なサービスを提供する役割が求められてきた。

障害福祉分野においては、深刻な人材不足は続いており、介護職員等の確保は引き続き重要な課題である。令和 4 年 10 月には、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を踏まえた臨時の報酬改定が行われ、介護・障害福祉職員の収入を引き上げるための措置が講じられた。その他、当法人においては、非常勤職員の処遇改善に取り組み、同一労働同一賃金に対する対応を進めるとともに、職員休憩室の整備を始めとした労働環境整備の改善に務めることで、働きやすい環境づくりに重点的に取り組んできた。

2022 年度においては、感染症予防対策を講じつつ設備改修及び更新を行った。具体的には、経年劣化が顕著であった浴室の改修及び特殊浴槽の更新、スプリンクラー機器等の非常用設備の更新に取り組んだ。その他、節電対策に資するための LED 照明の導入を行った。また、補助金等を活用して介護業務の負担軽減や業務効率化に資するための ICT 機器、介護ロボット等の導入を進めた。

このような状況の中にあって、あしたの丘では、「2022 年度事業計画」に基づき、感染予防策と利用者の基本的な生活の支援の両立を図りながら、次のような活動を展開してきた。

- 利用者への日常的な身体介護等の提供とともに、利用者の短期目標・長期目標の実現に向けた支援を行った。
- 地域の医療機関、福祉機関の協力を得ながら、栄養、保健、リハビリ等のサービスの提供により、健康管理に努めた。特に医療的ケアが必要な障害者の支援を重点的に行った。
- 利用者の高齢化・重度化及び設備・備品等の老朽化に伴い、緊急度の高いものから順次、施設設備の修理・改修等を行い、健全な生活環境を整えた。

I 社会福祉事業（あしたの丘事業）

1 障害福祉サービス事業

（1）生活介護事業 A（障害福祉サービス事業）・・・・・・・・定員 60 名

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて、施設内、施設外における活動を実施した。感染予防策と利用者の日常生活の両立を図るため、創意工夫を凝らした活動を実施した。

2022 年度の入所者数は、月平均で **57.8 人**（2021 年度 57.8 人、2020 年度 59.2 人、2019 年度 59.5 人）であり、過去数年との比較において入退所の多い年度であった。

社会福祉法人新生会 報告事項

利用者は、名古屋市内の方が **82.1%**（2021年度 81%、2020年度 79.7%、2019年度 81.5%）で、名古屋市外の方が **17.9%**（2021年度 19%、2020年度 20.3%、2019年度 18.5%）であった。

…………… 資料 1

①日課

- ・ 利用者のニーズに基づく選択可能な余暇活動の提供
- ・ 個人の身体状況、多様な利用者ニーズに対応できるサービスの充実

②身体介護

- ・ 個別支援計画に基づく生活の質の向上を目指した身体介護の提供
- ・ ADL向上を目的とする生活リハビリの提供、福祉用具等（介護用品、自助具、補装具等）の活用

③行事

- ・ 利用者ニーズに基づく選択可能な行事の企画
- ・ 利用者の誕生日に願いを叶える「あなたの願い応援します企画」は、感染予防対応を講じて実施した。

[年間・季節行事]

- ・ 誕生会・あしたの丘まつり・クリスマス会等の施設内における行事は、感染予防対応を講じて代替企画を実施した。

[月間行事]

- ・ 外食ツアー、買物ツアー等の外出行事は、コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて代替企画を実施した。

④余暇活動

コロナウイルス感染予防対応を講じて対応した。

- ・ 入浴・余暇充実等の活動の工夫と推進
- ・ スポーツ、生き活きリハ、カラオケ、音楽療法等の施設内における活動
- ・ 感染予防策を講じた班活動の実施

…………… 資料 2

⑤食事の提供

食事提供の基本形態（昼食）はバイキング方式であるが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ臨機応変に対応した。

- ・ 医療的判断に基づく身体状況にあわせた特別食の提供
- ・ 利用者ニーズに基づく選択可能な行事食の提供（1回／月）
- ・ おやつ提供
- ・ 施設内喫茶の運営

⑥健康管理

- ・ 嘱託医の診療、看護師による健康管理
- ・ 健康診断（2回／年）、インフルエンザ予防接種等の実施
- ・ 嘱託医及び協力病院との連携による医療の提供
- ・ 施設内の感染症予防対応

…………… 資料 3

⑦生活リハビリ

- ・ 利用者の目標に沿った個々の生活に合わせたリハビリテーションの提供
- ・ 理学療法士による機能回復訓練
- ・ 車イス等の補装具の調整、申請

…………… 資料 4

⑧その他

- ・ 地震や火災を想定（夜間や昼間）した防災訓練の実施（2回以上／年）
- ・ 利用希望者及び家族等への見学対応

(2) **生活介護事業 B**（デイ・サービス事業）……………定員20名
感染予防と利用者支援の両立を図るため、創意工夫を凝らした各種活動を実施した。利用人数は、1日平均**12.4人**（2021年度12.9人、2020年度11.4人、2019年度11.8人）

…………… 資料 5

…………… 資料 6

…………… 資料 7

(3) **施設入所支援事業**（障害者支援施設）……………定員60名
主として夜間において、排せつ及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援を行った。

(4) **短期入所事業**（障害福祉サービス事業）……………定員6名
家庭の事情等により、短期間の入所をする方について、感染予防対応を講じた上で利用目的に沿った支援を行った。定員が6人のところ、1日平均**2.3人**（2021年度3.3人、2020年度3.1人、2019年度3.0人）

…………… 資料 8

(5) **相談支援事業**（障害児・者 特定相談事業）

障害ある人が住みなれた地域で自らの選択と決定により、自らの望む暮らし方が可能となるよう地域生活を支援するための相談事業を実施した。

感染予防対応を講じた上で、地域の障害者（児）等からの福祉に関する相談に応じるとともに、障害福祉サービス等を利用するためのサービス等利用計画の作成を

行った。

相談担当した実人数 **12人** (2021年度 12人、2020年度 12人、2019年度 13人)の
うち、天白区内の方 **58%** (2021年度 58%、2020年度 84%、2019年度 62%)
相談のべ件数 **675件** (2021年度 675件、2020年度 662件、2019年度 609件)

…………… 資料 9

2 施設整備

施設や設備のメンテナンス等、安全管理と良好な運用を行うとともに、利用者の
障害の変化（重度・重複化）等を踏まえた建物改修や備品の整備を実施した。

…………… 資料 10

3 職員教育

介護技術や看護の知識習得・技術研修により、質の高いサービスの提供を目指し
た。あわせて、感染症の発生に備えた対応力を強化するための研修を実施した。

- (1) 施設内における新人職員教育および職員の知識習得や技術研鑽に努めた。
- (2) 職員の専門技能の向上を目的とした研修の実施。Webを活用した外部研修に
参加した。

…………… 資料 11

4 実習生の受け入れ

新型コロナウイルス感染予防対応を講じた上で受け入れを実施した。

- (1) 介護人材の確保や福祉教育への貢献等を目的とする、大学・専門学校等から
の実習生の受け入れ（福祉関係資格取得のための実習、教員免許特例法によ
る介護等体験等）
- (2) 地域の介護、福祉分野における現任者向け研修の受け入れ
- (3) グループ施設、関係機関からの要請に基づく体験実習等の受け入れ

…………… 資料 12

5 地域との連携や渉外活動

新型コロナウイルス感染症の影響による施設行事の中止に伴い、ボランティアの
受け入れ人数は減少した。地域活動の中止や縮小により、地域との連携や渉外活
動は実施できなかった。

(1) 地域における福祉の拠点活動

- ①表山学区防災安心まちづくり委員会との連携、地域防災協力
- ②表山学区地域福祉推進協議会との連携
- ③施設設備や備品等の地域福祉活動等への提供
- ④天白区障害者自立支援連絡協議会における活動
- ⑤あしたの丘へのボランティアの受け入れ

(2) 広報活動

- ①あしたの丘通信の発行（3回／年）
- ②あしたの丘ホームページを活用した情報発信

(3) 全国身体障害者施設協議会、愛知県身体障害者施設協議会等の関係機関との連携に基づく情報発信、広報活動

(4) ホスピエグループとの協力、連携に基づく地域における福祉活動の展開

…………… 資料 13

II. 公益事業

1 新生会附属診療所事業

2023年3月31日現在の在籍患者数は、計19人（2021年度19人、2020年度19人、2019年度20人）

あしたの丘入所利用者18人(2021年度17人、2020年度19人、2019年度20人)

短期入所利用者0人(2021年度0人、2020年度0人、2019年度0人)

外来1人（2021年度2人、2020年度1人、2019年度1人）

…………… 資料 14

2 日本医動態研究所事業

(休 止 中)

新生会第一病院、名古屋記念病院との研究提携

- (1) 腎不全に関する研究
- (2) 癌に関する研究
- (3) 免疫に関する研究
- (4) 社会福祉に関する研究